

[メルディア]

一般財団法人メルディア広報誌

# MELDIA

MELDIA

2018  
OCT. VOL.10

月刊メルディア 10月号 2018年8月25日発行 (毎月1回25日発行) 第10号 通巻10号  
発行所/一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F

TAKE FREE

働く 障がい者と共に

創る 障がい者と共に

天野春香による取材 障がい者を応援! いきいきと働こう!

Caféふれあい×天野春香

布施博による取材 布施博が訊く

株式会社リンクライン×布施博

花瀬琴音による取材 福祉関連事業所訪問

渋谷なかよしぐるーぷ×花瀬琴音

人気連載エッセイ 障がいのある息子と私

水越けいこの「M size/はじまり」

月刊メルディア  
VOL.10  
TAKE FREE



Design Your Life

MELDIA  
GROUP

同じ家は、つukらない。



メルディアグループ

<http://www.meldiagroup.com/>

株式会社三栄建築設計  
〒163-0632  
東京都新宿区西新宿1-25-1  
新宿センタービル32F

25th  
ANNIVERSARY

まだ25年、  
これからのメルディア



# Café ふれあい

運営/社会福祉法人 豊芯会  
東京都豊島区



天野春香  
初取材

「Caféふれあい」は、障がい者の働く場が少なかった以前の豊島区に初めてできた就労継続支援A型事業のカフェで、これを運営する豊芯会としても念願だった施設だという。2015年5月に東京都の豊島区役所が新庁舎をオープンするにあたって、その4階のラウンジスペース内でリニューアルオープンした。日替わりランチとワンコインのお弁当が人気で、予約完売することも多いという。精神疾患の障がいを持ち、今では店長として働く齊藤健さんと、副店長の矢部江利さんにお話を伺った。

失敗してこそ得られる貴重な経験  
怖がらず何事にも挑戦してみよう





## それぞれに合った働き方で 社会参加を可能にする職場

天野 まずはこちらの紹介をお願いします。  
齊藤 就労継続支援A型として運営しているお店で、主に障がいのある人たちが働いています。実は、私も障がいを持っているんですが、障がいの種別や年齢問わず、誰もが「いきいきと働く」ということをテーマに運営しています。そのテーマのためにはどうしたら良いかを日々考えながら営業しています。

天野 障がい者スタッフの仕事内容はどのようなものですか？

齊藤 一般的な喫茶業務と同じです。ホールでは、準備から始まりランチタイムとアフタータイムまで、注文を取ったり、料理を運んだりという主に接客業務ですね。厨房ではお客様に提供する料理を調理させていただいています。

天野 なるほど。障がい者スタッフの人たちは特に問題なく業務をこなされていますか？

齊藤 そうですね。色々な人が働いているので中には作業が難しい方もいるのは正直なところですが、そういう方たちにはこちらで作業のプログラムを作り、段階的にスキルアップ

できるように工夫しています。

天野 「プログラム」というのは？

齊藤 まずは面接をして、「将来的にどうなりたいか」や、「どういうことをしていきたいか」などを聞いて、その人に合った形で徐々に仕事に慣れていってもらおうようにしています。

天野 人それぞれに合ったやり方で、仕事を覚え、社会に出て行けるということですね。

齊藤 そうですね。あと、知的障がいのある人は「集中して作業する」ということが得意な人が多いんです。どんなことがあっても出勤しませし、何かをお願いするものすごく集中してかなりの仕事をこなしてくれるので、そういった所ではとても大きな能力を発揮してくれていると感じています。一方で、こうした喫茶業務の接客は、少し難しさはあるとは思っていますが、場所によっては障がいのある人でも接客であっても可能だと私は考えています。その可能性をどこまで広げられるかが私たち支援スタッフの力かと思っています。また、そこに健常者の人たちが関わることで理解が進み、良いサポートが出来るのではないかと思います。

天野 知的障がいのある人たちは、ホールの接客業務よりキッチンでの作業の方が向いているのでしょうか？

齊藤 各々の特性で変わりますね。障がいのレベルや家庭環境もあると思います。

天野 これまでも家庭で家事の手伝いをやっ

ではないかと思えます。

天野 失敗経験があると、どうしても成功経験より失敗の方が強く根付いてしまう傾向があるといえますからね。知的障がいや、精神疾患の障がいのある人だと、なおさらだと思うのですが、その辺りのサポートで特に気を付けておられる事がありますか？

齊藤 ここでは、成功した時より失敗した時に褒めるようにしています。もし失敗したとしても、「良くこれに気付けたね」、「みんなもこれに勉強になったよね」というような表現にして伝えるようにしています。そうすることで、障がい者スタッフが安心して失敗できるようにしています。だからきつと、「成功するより失敗した方が褒められる」と思ってますよ(笑)。  
天野 まさに「失敗は成功の母」ですね！



ていたり、とかですか？

齊藤 そうそう。そういう方だと接客業務でのオーダーがすぐ出来てしまいます。私たちより向上心があつて、初めてでも物怖じせずオーダーを聞きに行くことができますからね。

天野 そういった皆さんそれぞれが育った家庭環境でも変わってくるものなんですね。

齊藤 それと、私たちスタッフが彼ら障がい者スタッフに対して、どこまで期待を掛けてあげられるかどうかだと思っんですよ。「障がいがあるからここまでしか出来ないだろう」というような先入観で決めてしまつてはなくて、「大変かもしれないけれど、もう一歩踏み込めるか」とか、「失敗しても大丈夫だから」というのが安心感を与えられるかどうか、というのが大事なな

## ミーティングを重ねることで 売り上げは徐々に伸び始める

齊藤 障がい者スタッフにはそれぞれの担当部署の決定権限も与えていて、今では私は最終的にチェックするくらいになっています。

天野 全員で店舗ミーティングみたいなこともやられているんですか？

齊藤 まさしく今日がその日なんですけど、月に1回はミーティングを行う予定にしています。全員集まって、その月にあったことや気づいたことなどを報告をし合い、改善点などについても話し合っています。

天野 健常者では気付けないようなことを障がい者スタッフは気付いていた、なんてことも出てきたりするんですか？

齊藤 はい。逆に私たちの方が学ばせて貰うことも大いにあります。ミーティングを重ねることで、売り上げも3倍近くも伸びたので、とても良かったなと思っています。

天野 それはすごいですね。最後に、「月刊メルディア」読者に伝えたいメッセージがあればお願いします。  
齊藤 障がいを持っているということ、本人もご家族も、「働くこと」を諦めてしまつている人たちもおられると思うのですが、全国に当店のような場所もありますし、サポートの為に訓練する施設などもあります。ぜひ一歩を踏み出して、チャレンジしてみたいです。



女優/タレント 天野 春香  
Haruka Amano



Café ふれあい/店長 齊藤 健  
Ken Saito

# MELDIA

## 一般財団法人「メルディア」とは

障がいのある人を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童・青少年を支援する活動を通じて、人々と社会に広く貢献することを目的として設立されました。

## 「メルディア」の基本理念

一般財団法人メルディアは社会的・経済的ハンディを抱える方々の「未来」に少しでも希望が持てるように、財団の活動を通じて支援し、社会貢献してまいります。

## 障がい者支援

障がい者の子供を持つ親の苦労や不安は計り知れないものがあります。さらに、親が「片親」の場合は、経済的負担や苦労・不安もその親1人で背負わなければならない状況です。不安な生活の中で、情報交換もあまりできない方々の情報源となるような刊行誌を定期的に財団で作成し、そういった方々への有益な情報提供と、障がい者の持つ課題等を広く社会に知ってもらうこと、そして様々な企業や個人から、支援団体などに対する寄付を募ることを目的として、本誌「MELDIA (メルディア)」を発行し支援活動を行います。

## 青少年スポーツ支援事業

### 家庭の事情等で経済的に恵まれない 青少年のフットボーラーのための奨学制度

アルゼンチンのロサリオ出身のリオネル・メッシは、経済的に恵まれない低所得な家庭に生まれましたが、チームが彼を支援し彼も成長して世界を代表するフットボーラーとなりました。メッシは才能を評価され、たまたま支援を得られました。しかし青少年の中には、才能があっても経済的な家庭の事情で、サッカーをする環境に恵まれずに支援がないまま、選手としてプレイを諦めざるを得なかったり、適切な環境でプレイすることができない人たちもいます。そういう若者が、日本にも数多くいるのが実情です。

そのような青少年フットボーラーがプレイを継続するために、「頑張る人を支える奨学制度」を財団法人メルディアが実施し、社会に貢献をしたいと考えています。

## 財団概要

名称 一般財団法人メルディア  
(英文名: general foundational juridical person MELDIA)  
設立者 小池 信三  
設立日 2017年5月23日  
所在地 〒163-0632  
東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F  
電話 03-5381-3213  
URL <http://meldia.org/>  
MAIL [org@gf-meldia.com](mailto:org@gf-meldia.com)

MELDIA <https://meldia.org/>



facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



### ALL ABOUT MELDIA

## 「メルディア」とは?

「メルディア」とは、イタリア語である「メダリア」の造語で「メダルを」という意味です。財団メルディアは、『輝かしい人生』を手に入れて頂きたいという想いが込められた名称です。障がい者本人に加えその家族、また経済的な理由からスポーツが続けられない青少年など、「社会的なハンディキャップ」を持つ人々に対して『夢を諦めることなく挑戦することができる』ように支援をしていくことを目指しています。



ガラス張りで見開く広々とした店内はとても居心地が良く、気持ちまで明るくなる。ピーク時は殆どの席が埋まる程の人気店だということも納得だ。



Caféふれあい / 副店長 矢部 江利  
Eri Yabe

誰かに必要とされる喜びはいつか「自信」へと変わる

店長の齊藤さんをサポートする副店長の矢部江利さんにもお話を伺いました。

天野 とても環境の良さそうなカフェで、皆さんがいきいきと働かれています。矢部さんはこちらで働いていて「良かったな」と思っていますか?

矢部 今まで自分には「出来ない人」のような思いがあったのですが、ここで働くようになってから人として認められたような気がして。そこが良かったなと思っています。

天野 店長の齊藤さんから、「成功した時より失敗した時に褒めるようにしている」と伺ったのですが、実際の環境に身を置くことによって失敗が怖くなくなったと感じますか?

矢部 そうですね。私が入ったときは「とにかく失敗しても良いから何かやってみて」と言われました。今まで何でも「出来ない」と言ってしまうことが多かったのですが、齊藤さんが、「俺が責任取るから、『出来ない』と言わずに何でもやってみて」と言われて、それから出来るようになりました。

天野 そこまで言ってくると、例えば自信が無くても「やってみよう」と思えますね。以前と今とで意識は変わりましたか?



Caféふれあい  
東京都豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所4F  
TEL / 03-3980-5020  
営業 / 月~金(9:00 - 17:00)  
土・日・祝(11:00 - 17:00)  
<http://housinkai.or.jp/guide/tabid/70/Default.aspx>



矢部 以前までは、「最後までここにしがみついで働こう」と思っていた部分もあったのですが、今は「他の場所に行ってもなんとかなるんじゃないか?」という思いが出てきました。

天野 ここで働くようになって自信が付いたということですね。

矢部 周囲がそう思わせてくれるんです。「矢部ちゃんがいってくれない」と言ってくれないので、例えばそれがお世辞でも嬉しいじゃないですか。ここに来ると皆がそう言ってくれるので、何でも出来そうな気がするんです。土日はケーキ作りも担当しているので、ケーキのレパートリーも増やしていきたいなと思っています。

天野 良いですね。私も応援しています。



布施博が訊く

Fuse Hiroshi's interview



布施博  
Hiroshi Fuse

株式会社リンクライン  
代表取締役 / デザイナー兼原型師  
神原 薫  
Kaoru Kambara

「IT企業の子会社で行う  
職人的な高品質の石鹸作り」

布施 リンクラインさんでは一般的な障がい者雇用とは違った独自性があると聞いています。まずは会社設立の経緯からお聞かせ下さい。

神原 母体は情報処理サービスを営むコムテック株式会社という会社です。そこで法律で定められた2.2%の障がい者を雇用する義務をどうしようかという話になりました。アウトソーシングの会社ですから、障がい者が活躍するには何かしらの受け皿がないとなかなか難しい。そこで生まれたのが弊社です。今では障がい者が純国産の化粧品をハンドメイドで作るブランドを運営しています。

布施 母体となるIT系の会社とは随分と異なった事業内容ですね。

神原 会社を立ち上げる時に、全国の企業さんや福祉施設を見学させてもらったんですが、その中で、静岡に昔ながらの大きな釜炊きの石鹸を作っているところがあって、それに感銘を受けたんです。多くの障がい者雇用が軽作業で補助的な作業が多い中、その施設では障がい者がメインになって石鹸を作っていたんです。

布施 作ったことのないものを作るわけですから、大変だったんじゃないですか？

神原 そこでその福祉施設で石鹸作りを教えてもらおうと思って伺ったんですが、「実は師匠は長野県に住んでいる」というんですね。すぐさま長野まで飛びました。そして、その石鹸屋さんで住み込みで武者修行を積んだんです。2週間くらい、実際に働いている障がいのある人と寝起きを共にしながら石鹸作りを教わる中で、先生役となってくれた彼らが、すごく自分の仕事に誇りを持って輝いていたんです。私のような東京から来た新参者にもすごく丁寧に教えてくれて。そこでは彼らが主役となり、きちんと給料分を稼ぎ、自分の好きなことにお金を使える、つまり、「暮らし」ができていました。そのことに感銘を受けて、では僕らもそうしようと考えたんです。

布施 障がい者雇用の現場で、彼らが作った製品そのものが売りになっているというケースはあまり聞いたことがないように思います。

神原 ほとんどないですね。ここでは23人の障



株式会社リンクライン  
神奈川県小田原市穴部547-2  
TEL / 0465-22-4217  
(商品お問い合わせはTEL/0465-22-4219)  
<http://linkline.co.jp/>



がいが者が一個一個の化粧品を手作りで作っていますが、その活動としては、日本国内において化粧品を製造・販売する免許を持ちながら、「メイド・イン・ジャパン」の商品を外部に発信するという、メーカーとしての活動そのものです。そういった意味では福祉ではないんですね。私が長野県で見たように、自分が作ったもので稼いで、好きなように消費し、健常者と全く同じ暮らしをする。そういった形を作ってあげるところこそが、本当の意味での障がい者の自立支援だと思っんです。

布施 どんな商品を作るかはやはり相談し合いながら考えているんですか？

神原 そうですね。彼らがかわいいと思うものを形にしています。すると少しずつ、面白い、普通じゃない石鹸が作れるようになりました。

カラフルでポップな石鹸ブランド  
布施博 × 株式会社リンクライン  
神奈川県小田原市

純国産の高品質かつ見た目にも鮮やか  
手作り石鹸製造・販売で真の自立を実現

神奈川県小田原市の株式会社リンクラインでは、他にはない手作り石鹸ブランドを立ち上げ、その職人的な製品づくりとブランド展開で、卸先の雑貨屋業界のみならず多方面から好評を博している。どんな製品が作られているのかは、本コーナーの写真を見て頂ければ一目瞭然、その鮮やかさには目を奪われるばかりだ。一般の消費者がお金を払ってでも買いたいと思う商品作り。同社では、通常のメーカーが目指す企業活動を行うことを通じて障がい者の自立が果たされている。

lili's  
Handmade Soap  
Product introduction

本物のスイーツみたい！  
このままインテリアとして  
飾っておきたい！



カラフルで、  
フローゼン  
アイスバーみたいで  
かわいい!!



取材で伺った際頂きました。  
「MELDIA」のロゴ入りです！  
手に取った時、感激しました。

紹介してくれた方



砂長 美んさん  
Bin Sunanaga

リンクラインさん取材するにあたり、「一般社団法人 ありがとうショップ」の砂長美んさんにご紹介いただきました。（編集部）

一般社団法人 ありがとうショップ  
http://www.arigatoshop.jp/



後くらいです。私としてはこの小さな会社の中で働く場という意味での社会を再現してみたかったんです。ですから、性別や年齢、障がいもバラバラでいろんな障がいのある人が勤めています。ただ、元気で明るい職場にしたかったので、求人票には「元気で明るい方大募集」と書いたんです。すると自然と知的障がいの子が多くなりました。実際には23名中、16名が知的障がいの人です。布施 実際に障がいのある人を雇用して一緒に働いてみる中で、新たに覚えてきたことってありますか？

神原 彼らは感受性が鋭いですから、こちらがへたに気を遣ってしまうと逆に彼らは心を閉ざしてしまいます。だから、こちらからストレートに飛び込んで、良いことは良い、悪いことは悪いとハッキリ伝えるようにしています。そうすると彼らも付いてきてくれて、思ったことをストレートに言ってくれます。僕が石鹸の原型となる型を作っているんですが、ここをこつやってくればもっと作り易くなるし、早く上手に作れるといった具合に、良い意味で僕に意見してくれます。布施 なるほど、そういう風にして色々な石鹸が作られていくわけですね。神原 お陰様で今では全国の雑貨屋さんで自社ブランドの石鹸を取り扱ってもらえるようになりました。企業としてちゃんとしたお給料を払えることで、彼らが僕らと同じように週末には映画に出掛けたり買い物を楽しんだりすることができるようになります。

さらに帰りに立ち寄った雑貨屋さんには自分たちが作った石鹸が売られている。この光景を作り出したことが嬉しかったです。布施 それは確かに働き甲斐にもなるし、誇りにもなりますね。そのためにも、今度は神原さんが営業もしないかね（笑）。神原 私も最初は営業は苦手だったんですが、今は彼らが製品に込めた思いを周りに届けて行くのが僕の使命だと思っています。ですから、今は業種を問わず色々な方とお会いするのが楽しくて仕方ありません。布施 お話を聞いていて、確かに彼らが主役なんだということが良く分かりました。



最初の5年間は、OEM（※1）でライセンス商品を作っていました。実績としては、アニメのキャラクターがそのまま石鹸になっているといったものですね。ただ、OEMではキャラクター物が中心になってしまっているので、作り手の背景が埋もれてしまいます。主役である彼らが表に出られません。そこで、作るのも売るのも僕らという自社ブランドを立ち上げることにしました。それが「リイリイ（※2）」というブランドになります。布施 このフルーツキャンディーのような鮮やかな石鹸がそれですね。神原 はい。自分たちの技術の集大成として何をモチーフとした石鹸を作ればいいのかと考えた時に、やはり世の中の女性目線でキャッチーなものだろうと。今で言う「インスタ映え」したものは何だろうと考えて、フルーツは色も形も様々で、カラフルでポップですから、僕らが造る石鹸のイメージにぴったりだと。フルーツを



▲「リイリイ」ブランドの石鹸。ゼリー内部に様々なフルーツが詰まったアイスキャンディーのような石鹸は、一見すると実物そのものだ。

自分たちが作ったものが  
全国のお店で売られている

布施 実際にどういった人たちがこちらで働いているんですか？

神原 下が20歳で上が52歳で、平均年齢が30歳前

ゼリーの中に封じ込めたような石鹸を作り出したというわけです。布施 鮮やかすぎて、なんか使うのはもったいないような気がしちゃうよね。神原 そうなんです。みなさん物珍しいので使わないで飾ってしまうんですが、それは我々の本意じゃない。海外で作られた大量生産品とは異なった、純国産で高品質なものになっています。植物由来で泡立ちが良くして環境にも良いです。かつ、香りが全部違います。ですから、まずは是非とも実際に使って頂きたいですね。



※1 / 相手先ブランド名製造。他社のブランド製品を製造すること。

※2 / lili's (リイリイ)



女優 花瀬 琴音  
Kotone Hanase

手作り料理と明るい子供たち  
受け継いできた療育の大切さ

花瀬 こちらの「渋谷なかよしぐるーぷ」さんは障がいがある子どもたちと一緒に料理を作るという恒例の活動があるんですね。

大久保 そうです。ここは「放課後等デイサービス」を提供している事業所です。具体的な療育の内容は事業所によって様々ですが、ここでは「子どもたちが気軽に楽しく」、「安心できる空間を提供する」ということをコンセプトにして活動してきました。

花瀬 とても雰囲気が良いですね。私も「自分の家なんじゃないか?」と思うくらい普通に、たづねりくついでしました。

大久保 そう言って頂けると大変うれしいです。



特定非営利活動法人 渋谷なかよしぐるーぷ 東京都渋谷区

利用者もスタッフも  
みんな一緒になって料理を作る  
みんなで調理をして  
みんなで食べて経験を共有する



東京都渋谷区にある「特定非営利活動法人・渋谷なかよしぐるーぷ」は、放課後等デイサービスを運営している事業所だ。1970年に設立された同事業所は、障がい児放課後活動、ショートステイ、外出支援など、暮らしのニーズに合わせたサービスを提供している。この「なかよしぐるーぷ」では、利用者に食事を毎晩提供するだけでなく、その調理をスタッフと利用者として行っている。そんな「なかよしぐるーぷ」を女優として活躍する現役の高校生・花瀬琴音が訪れ、みんなと一緒に夕食準備の現場に参加し、その和気あいあいとした雰囲気を体感した。この事業所での活動は高校生・花瀬の目にはどう映ったのか?



さつきは子どもたちと一緒に料理を作ってくださって有難うございました。

花瀬 いえ、すごく楽しかったです。料理を作っている時の雰囲気も、私が思っていたのとはずいぶん違いました。学校の「調理実習」のようなきちんと決められたことをやるだけかと思っていたらそうではなくて、みんなワイワイと賑やかで、まるで本当の家族みたいでした。

大久保 今日は来客があるということですので子どもたちがいつも以上に張り切っていたので、特別に賑やかだったんだと思います(笑)。

花瀬 子どもたちは来客が好きなんですか?

大久保 好きな子が多いです。今日も、花瀬さんがいらっしやるというので、みんな楽しみにしていたよかったです。

花瀬 ここに来た時に、みんながものすごく元気に挨拶してくれて、私はテンションがすごく上がっちゃいました(笑)。

大久保 実は、挨拶にしても私たちが彼らに教えているというわけではないんです。やはり、子どもたち自身がいるんな人と逢うのが好きなんです(笑)。

花瀬 料理の時も、みんなが私に話しかけてくれて、すごく嬉しかったです。

大久保 ありがとうございます。

花瀬 ここではどうしてみんなと一緒に料理を作るようになったんですか?

大久保 元々の活動は、障がいのある子どもを

持つお母さんたちが、行政と話をしたい時などに、一時的にその子を預かるというものでした。その時に、お母さんたちが交代で料理を作りに来てくれて、それをみんなで食べていたんです。そこから子どもたち自身も料理作りに参加するようになり、現在のようになりました。

花瀬 ずっとやっておられたんですね。

大久保 うちの活動が始まってから50年近くになりますが、「放課後等デイサービス」という形態になったのが平成24年なので、この形態としてはまだ歴史が浅いのです。他には「夕飯を毎晩作って食べる」という事業所は多くないので、うちがこの形態になって、今まで通り活動を続けられるか不安な部分がありました。こういう活動を残していきたいという意見が多く、ボランティアの方など様々な人たちのご協力、今

もこうして続けることが出来ています。



特定非営利活動法人  
渋谷なかよしぐるーぷ  
**大久保 徹**  
Toru Okubo

**当たり前でなくてはならない  
成長する権利と育まれる場所**

花瀬 このお仕事をされていて大変だと思う部分などはありますか？  
大久保 活動自体にはこれと言ってありませんが、福祉事業の業界全体が大幅な人手不足であることは否めません。  
花瀬 やっぱりするなんですね。  
大久保 私たちも情報を発信して周りを巻き込

花瀬 この活動は子どもたちはもちろんですが、「親御さんの生活を考えると」という部分への比重も大きいみたいですね。  
大久保 そうですね。ご家族の「生活の質の向上」も目的の一つです。でもそれとは別に、家で自分の子が料理を手伝ってくれたりすると嬉しいという意見もあるんですよ。  
花瀬 それは素敵ですね！

**失敗してもそれが経験になる  
業界が薦める「豆知識」**

花瀬 料理を療育のプログラムに入れる利点はなんですか？  
大久保 やはり、成果が分かりやすいからですね。作るという工程があつて完成が目で見えて、食べることで結果が分かる。本人たちも達成感を得やすいと思います。



花瀬 確かにそうですね。  
大久保 料理は例え失敗しても「またがんばろう」で済むし、食べちゃえば良い。そんな経験があつても良いと思います。反対に、上手く行かなそうな時に何とか完成させたときなどは、その場に一体感が生まれて楽しいですよ。  
花瀬 料理の他にはどのような活動をしているんですか？  
大久保 色々なところに出掛けるようにしています。近くの公園だったり、電車に乗って遊園地にも行くこともあります。  
花瀬 なるほど。そういった活動の中で大切にされていることは何ですか？  
大久保 やはり、「色々なことを経験して欲しい」というのが大きいんです。今日のように誰かが遊びに来てくれることも子どもたちにとっては大きな経験です。様々な経験を通して成長していく彼らを私たちは見ているので、家庭内ではなかなか出来ないようなことをここで経験してもらえたら良いと思っています。  
花瀬 それなら料理は打ってつけですね。  
大久保 そう思います。とはいえ、料理に関しても、当然好きな子たちばかりという訳ではありません。その場合は、炒め物などが難しい場合でも、例えばミキサーのスイッチを押してもらうなど、何らかの形で参加してもらって、それが子どもたちの経験に繋がれば良いなと思っています。  
花瀬 そうですね。  
大久保 大久保さんが思う、障がいのある子どもたちのイメージをお伺いしても良いですか？  
大久保 一般的に、人とのコミュニケーションや集団行動が苦手な子どもが多いというイメージがあると思います。実際にそういう部分もあるにはあるんですが、一緒に何か、例えば今日の花瀬さんように子どもたちと一緒に料理をして貰えば（子どもたちのことが）分かると思うんですが、自分からどんどん話す明るい子どももたくさんいて、料理の最中でも力を発揮できる子がいて、一緒にいると楽しいですよ？  
花瀬 ものすごく楽しかったです！  
大久保 私もそう思います。だから子どもたちと触れ合うことで、こちらが癒されることも多々あるんです。  
花瀬 先ほど料理と一緒に作って、完成してみんなで食べた時間を私は「かけがえのないもの」だと感じました。ありきたりですけど、そういう所が「やり甲斐」のある仕事ですよ？  
大久保 私たちのように福祉に携わる人間は、そういった「やり甲斐」に対して良さを感じている人がきつと多いはずですよ。一般の方たちにも一度でも現場を経験してもらえれば、プロとしてやっていく価値のある仕事だと感じて頂けるのではないかと思います。  
花瀬 私も一緒に過ごしてみて、改めてボラン

花瀬 ちなみに家庭でも役に立つ「豆知識」的な例などはありますか？  
大久保 私たちの業界ではオーソドックスなんですけど、タイマーを使って時間を教えてあげるのと時間配分がうまくいくことは多いですよ。「遊びの時間は何分です」とか、「あと何分待ったら何かをして良いよ」とか。  
花瀬 そうなんですね。  
大久保 あとは「スケジュール表」を作っておくこともお薦めですよ。それを見ながら子供たちが自発的に行動するようになることも少なくありません。  
花瀬 「見て分かるようにしておく」というこ



ティアとしてここに来たいと思いましたが。  
大久保 そう言って頂けると有難いです。私も楽しいからやっています。  
花瀬 本冊子の読者の方たちに伝えたいことが何かありますか？  
大久保 ここでは子どもたちに伸び伸びとして欲しい。その中で経験を積み重ねて欲しいと思つて活動をしています。ですが、それがこだけで出来る特別な経験などではなく、当たり前で経験できる事であつて欲しいです。障がいのある子どもたちが成長していく環境は、当然あるべきですし、成長していくことは「守られるべき権利」であつて欲しいと思います。健常者と障がいの者の間にそういった差があつてはならないと思つので、少しでも興味を持ってもらえたらいいなと思います。  
花瀬 おっしゃる通りですよ！



特定非営利活動法人 渋谷なかよしぐるーぷ  
東京都渋谷区西原 2-36-7  
TEL / 03-3485-3548





# はじまり

水越けいこ連載

10



## シンガーソングライター 水越けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と公演活動を続けている。

### 私が思う「ダウン症」のこと ダウン症と私の「はじまり」

こんにちは水越けいこです。とても暑い日が続きましたが、みなさんは体調など崩されていませんか？ また、全国各地では豪雨などによる災害の情報も多く、被害に遭われた方たちにお見舞いを申し上げますと共に、お亡くなりになられた方たちに対し哀悼の念を捧げます。

さて今回は、ダウン症を持つ人たちの「個性」について、私が感じる事を語ってみたい。そもそも、「ダウン症（ダウン症候群）」とは、イギリスの研究者・ダウン博士に因んで名付けられた先天性の症候群のことを指します。約1千人に1人の割合で生まれてくるという研究結果もあるようです。ダウン症は、通常23組・46本の染色体のうち、21番目の染色体が1本増え

47本になったことが原因で起こると言われています。21番目の染色体が3本あるものを「標準型21トリソミー」と呼び、これがダウン症全体の95%を占めると言われています（息子の麗良もこのカテゴリーに入ります）。

この他には「転座型」や、「モザイク型」というタイプもあるようです。

そんな、ダウン症の人たちとの触れ合いは、息子が産まれた時から始まりました。正直、ダウン症については、麗良を授かるまで、その性格や特徴までは何も知りませんでした。

一般的に、ダウン症の人たちは幼少の頃の成長スピードが、健常のお子さんよりも遅いようです。身体、いわゆる健康状態が安定するのにも健常のお子さんよりも時間が掛かります。

ダウン症のお子さんを持つ親御さんたちが異口同音に、「小さい頃は本当にシビアだった」

恥ずかしがり屋な人が多いので、助けが必要な場合でも、自分から周囲の人に助けを求められない場合が多いだろうと思います。もしも、外出先などで、ダウン症の人たちが怯えていたり、困っているような様子が見て取れることがあったなら、積極的に声を掛け、手を差し伸べてあげてください。そうするだけで、彼ら・彼女らは安心するはずです。どうかみなさん、これを覚えておいて頂きたいと思います。

### 人として生まれて大切なこと 能力よりも「心の有り様」

今年の夏、映画撮影の仕事があり、地方での撮影のために息子と10日間ほど、2回に亘り離れ離れになる期間がありました。健常者であれば、留守番などは全く問題ないかと思いますが、ダウン症を持つ息子は、一人で身の回りの事をこなすのが苦手です。普段、マネージャーと相談して、「仕事で息子に会えない日数は3日間まで」と決めています。これまでに3日以上、仕事で家を空けた事がありませんでした。映画撮影は楽しみではありましたが、一方で家を空ける事にはとても不安がありました。

でも、私の不安は杞憂となりました。息子は周囲の人たちの力をお借りしながらも、しっかりと留守番をしてくれていました。

ダウン症は治る症候群ではないと言われてい



水越けいこ「僕の気持ち」絶賛発売中！

ます。私自身も、息子がダウン症であることが分かった時は、その治療法などについて調べたりしました。しかし、時間を掛けて調べていくうちに、それは難しいことだと知りました。

私は、息子がダウン症として生まれてきたことに「良かった」とは思いません。でも、こんなにも優しく、溢れるほどの素敵な感性を持つ息子に巡り合えたことに感謝しています。

人としてこの世に生まれ、何が大切で、どんな風に生きていくのが正しいのか、その答えを見付けるのはとても難しいことです。息子と生活していく中で大切なものは、決して能力や器用に振る舞う力ではなく、それは「心」にあるものだを教えて貰っている気がします。これからも私も息子を助け、そして助けられるような親子関係で居続けたいと思っています。

とが多々あります。

文章にすると表現が難しいのですが、私にはその優しさが「古来から人間が元々持っている神々しい優しさ」であるとも感じます。もし、彼ら・彼女らの精神を尊重する事ができるのであれば、地球上に起こってしまう「不幸」などを随分と減らせるような気さえしています。

この連載を読んで頂いている人たちの中には、ダウン症の人たちと接したことのない方も大勢いらっしゃるかと思えます。ぜひ一度、ダウン症の人たちとお話して貰えたら、前述した文章の意味が解って頂けるかと思えます。

ダウン症の人たちは、その優しさの反動からなのか、雷や大風などの大きな音が苦手であったりと、臆病な部分があるとも感じます。また、





## 施設入所も地域生活の一つのカタチ 障がいの種別問わず多様性を大切に

栃木県芳賀郡  
益子町

社会福祉法人 同愛会 障がい者支援施設 光輝舎

多様性を大切に、障がいの種別・年齢・信条などにとらわれず支援を行っている「障がい者支援施設・光輝舎」。栃木県芳賀郡益子町にあるこの施設では、利用者に「本物の体験をして欲しい」と、工夫を凝らした様々なサービスを提供している。クラブ活動や外出などという日中のアクティビティにも力を入れ、本人らしく生き生きと過ごす利用者たち。生きがいとゆとりを目指して福祉活動を行う「社会福祉法人・同愛会」の常務理事であり、「障がい者支援施設・光輝舎」の施設長・菊池月香さん、スタッフ・高橋麻来さんにお話を伺った。

取材&文・大橋はるか



【障がい者支援施設 光輝舎】 栃木県芳賀郡益子町大字北中 1113-1 TEL / 0285-70-2020 <http://three-ai.jp/>



### 様々な体験を一緒にしながら 本人らしく生き生きと過ごす

大橋 まず「光輝舎」が開所に至った経緯をお聞かせください。

菊池 ここは身体障がい者の療護施設として、平成13年に開所しました。元々こちらのエリア（栃木県の東側）には、身体障がいのある人たちを受け入れる施設が無かったです。当法人でも知的障がい者の施設というのは、姉妹法人の「あいのかわ福祉会（栃木県大田原市）」と「同愛会（塩谷郡塩谷町）」とで1ヶ所ずつ運営していたのですが、そこでもやはり知的障がいや、知的障がいがありながら重度の身体障がいや併せ持つ人だったり、将来的に高齢によって介護が必要になる人などの居場所が必要であると感じていたんです。そこで、この地区に障がいのある人たちに向けた施設が無かったということもあって、栃木県からお話をいただいて、当法人で施設を作る事になりました。

大橋 現在の福祉事業の内容は？

菊池 「障がい者自立支援法」が施工された年に、「三障がい（精神・知的・身体）」の縦割りだった制度が一本化されたんです。それをきっかけに、やはり我々も障がいの枠に捉われずに、あらゆる人たちを受け入れていこうということになって現在は「三障がい」に対応する施設に形を変えて運営しています。

大橋 現在の通所者数と入所者数は？

菊池 入所者が52名で、通所者が1日に約20名前後になります。

大橋 とても多くの方々が利用されているんですね。最初、こちらの施設に伺った時に、「光輝舎」という大きくてきれいな文字が建物に入っていたのがとても印象的でした。

菊池 ありがとうございます。ここを建てる時に理事長が、利用者さんやご家族にオシャレな建物だなと思って貰えるように、という思いで作りました。「施設に入る」という部分に対して何となく家族も負い目を感じるというか、ご本人も家族と離れてしまうんですとか、そういう思いを持たずにいられたら良いなと思います。

大橋 私たちもオシャレなマンションとかに入ると気分が上がりますよね。

菊池 そうですよ。それと同様の感じで利用者さんにご家族の方にも「良い所に入ったよ」と思って貰えるように、まずは建物を工夫しました。まあ、もちろん提供するサービスもそれに伴うようにしなきゃいけないっていうのもあるんですけど（笑）。

大橋 サービスといえば、こちらでは利用者の方たちとサッカー観戦をしたり、海外旅行に行ったりという様々なイベントも行っていると聞きましたか？

菊池 はい。月に2回は必ず、利用者さんたちと一緒に外出するようにしています。



社会福祉法人 同愛会／常務理事  
障がい者支援施設 光輝舎／施設長  
**菊池 月香**  
Ragika Kikuchi

大橋 みんなで一緒に出掛けるんですか？  
菊池 そうなんです。例えば、この近くだと益子町にある「道の駅」や、スーパーマーケットにも行きます。レストランに行ったり、居酒屋で食事やお酒を楽しんだりとか、そういうものもありますね。毎年1回は旅行に行くようにしていたり。そういうことをしています。  
大橋 それは楽しいですね。これまでどんな所に旅行されましたか？  
菊池 海外でしたら、シンガポール、グアム、韓国ですね。国内だと、沖縄、北海道にも行きました。ハウステンボスやディズニーランドなどのテーマパークにも行ったことがあります。  
大橋 すごく楽しそう！ きっと、良い思い出になりますよね。  
菊池 はい。我々スタッフも利用者さんと一緒に行けるのをとても楽しみにしているんです。  
大橋 素敵です。外に出かけること以外で利用者の皆さんと一緒に楽しんでいるイベントなんかはあるんですか？  
菊池 色々やっていますよ。先日はこの施設内の食堂で「カクテルバー」をやりました。  
大橋 バーテンダーがカクテルを作ってくず、その「カクテルバー」ですか？  
菊池 宇都宮市内から現役のバーテンダーさんをお招きして、食堂の中も敢えて電気を暗くして間接照明だけのバーっぽい雰囲気を作ったり、お料理もお酒に合うちよっとオシャレなものを

て、「本人らしさ」や「生活の楽しみ」などを見出して欲しい、ということを大切にしています。そして、それぞれの人たちの多様性も大事にして、どんな障がいがあっても、どんな状況であっても、ずっとその人らしく生活していただければ、と考えています。  
大橋 「月刊メルディア」の読者にメッセージがあれば。  
菊池 「施設に入所する」ということにマイナスなイメージを持つてしまうこともあるでしょうが、私は決してそうではないと思っています。施設入所の体系も地域の生活の一つであると考えています。うちの利用者さんたちのように、生き生きと生活している方も大勢いるので、自立生活の一つとして施設入所も選択肢にあるという事を知っていただきたいと思います。



大橋はるか

大橋 国や行政に対して要望はありますか？  
菊池 今は3年に1回、制度の見直しが行われて報酬が改定されます。そうすると、今の仕組みや体系が3年後にどうなるのか分かりません。制度が改定されると、毎回その改定した部分を利用者やそのご家族に説明しなければなりません。いかに当事者たちに分かりやすく説明できるか、またそのサービスをいかに使いやすくしていくか、というところも行政と共に考えていかねばならない部分だと思っています。  
大橋 これから先、障がいのある人たちとの関係をどう進めていこうとお考えですか？  
菊池 さっき言ったような、外出やクラブ活動などのアクティビティ的な部分を充実させていきたいと思います。そこから得られた様々な体験によつて、

明るく働く姿の裏には、悩み涙する日もあった

特別支援学校を卒業後、「光輝舎」でスタッフとして働いている高橋麻来さん(20)にもお話を伺いました。

大橋 いつもどんなお仕事をされていますか？  
高橋 掃除とか配膳とか、クラブ活動を他のスタッフさんと一緒にやっています。

大橋 今日は「園芸クラブ」をやられていたようですが、みなさんで何をしましたか？  
高橋 花壇で草むしりをしたり、野菜を植えたりしていました。

大橋 どんな野菜を育てているんですか？  
高橋 ナスやトウモロコシ、トマトとか、色んな野菜を育てています。

大橋 ここで働いていて楽しいと感じる時は？  
高橋 「外出支援」の時間が一番楽しいです。大橋 どの場所が楽しかったですか？  
高橋 バラ園とか、スーパーでの買い物です。

大橋 外出先ではどういう仕事を？  
高橋 利用者さんの車いすを押ししたり、おやつを食べる時のお手伝いをしています。

菊池 いつも彼女は、利用者さんのお手伝いをするんですか？  
高橋 はい、利用者さんのお手伝いをするんです。

大橋 優しい雰囲気の高橋さん。部屋の出入りの際には必ず深々といねいにお辞儀をされ、とても礼儀正しいお嬢さんだと分かりました。花が好きで、ピンクの花柄の着物を着て成人式に出席したという彼女は、「お花屋さんにも憧れている」とも話してくれました。真面目に仕事に向き合うその姿はとても素敵でした。

いができる部分を自らで探して、率先してやってくれたり、「これは出来ます」と自己申告してくれるので、とても助けられています。  
大橋 それは素晴らしいですね。逆に仕事をして困ったことはありませんか？  
高橋 利用者さんが言っていることが分からなくてちょっと困ることもあります。それで落ち込んで泣いちゃったこともあります。  
大橋 将来はどうなりたいですか？  
高橋 ここで仕事を頑張っていきたいです。



私  
は  
素  
直  
に  
「**綺麗だ**」と感  
じ  
ま  
し  
た。

えて鮮やかに塗られていて、  
絵では、美知香さんの作品  
は同じ花の絵でも濃淡を変  
えて鮮やかに塗られていて、  
私  
は  
素  
直  
に  
「**綺麗だ**」と感  
じ  
ま  
し  
た。

美知香さんは本を読むのも文章を書くのも好  
きで、普段から辞書を持ち歩いているほどの国  
語好きでもあるようです。彼女が操る言葉の上  
手さも頷けます。  
最近塗り絵にもハマっているという美知香  
さん。作成中のものがあると云うので見せても  
らいました。私が想像したも  
のとはまるで違う、とても柄

ここまで話をしている、私は漠然と「美知香  
さんはキッチンとしたものが好きなのかもしれな  
い」と思っていました。それは答えとしては  
△(サンカク)だったようです。  
正解は、美知香さんとの対談の中で彼女自身  
が教えてくれました。それは彼女と星占いの話  
している時でした。人間の性格の中で「正義感  
が一番大事だと思っ」と言ったのです。

美知香さんは正義感が強い人だったので。  
これが彼女を表す言葉として最適ではないかと  
私は思いました。

「ピーターパン」のスタッフの方に話を伺うと、  
職場でスタッフ同士のいざこざがあった時には、  
美知香さんは当事者たちから少し距離を置いて  
中立な立場で冷静に両者を仲裁するような立ち  
回り方を良くするのだそうです。

## 「正義感がないのは 疲れたこと」

美知香さんにとって、「正義感がないのは疲れ  
ること」だそうです。これが今回の取材中で最  
も印象に残った言葉でした。

「正義感」という言葉を聞いて、これまでに美  
知香さんが話してくれたことの全部に納得がい  
きました。彼女は自分の正義感をとても大切に  
する人だったのです。

そしてその正義感は、取材のためにわざわざ  
服を着替えてきてくれたことや、仲間同士の争



いの仲裁をすることなど、相手に向けられたも  
のが多いでしょう。

最初に私が食べたパンの具材なども、実は彼  
女が盛り付けたものだと言いました。私はパン  
の味にばかり気を取られていましたが、彼女の  
「人となり」を知ってからは、少しそのパンへの  
見方が変わりました。

その後、美知香さんとは、好きな漫画の話、  
屋敷が好きだという話、彼女の家で飼っている  
猫がムカデを食べていた話などたくさん話を  
して、時間となりました。

挨拶を済ませ、帰るまでの短い間、私は店に  
並べられたパンを眺めていました。私が食べた  
鶏天の入ったパンを見ると、一つ一つ同じよう  
に、どれも過不足や不公平なく均一に具材がたっ  
ぷりに入れられていました。

陳列されたパンを見ただけで、何かを思った  
のは私にとって初めての経験でした。このパン  
に込められたものは、彼女の正義であるのだと  
思うと、私が今まで「いい加減」にしていたこ  
と全てが勿体なく感じた瞬間でもありました。

# つむぐ ～こえをきく～

障がい者の「声」を聞く

足利市のパン屋さん「ピーターパン」で働く美知香さんとお話しをしてきま  
した。彼女の持ち場は工房で、朝の忙しい時間には10種類以上の調理パン  
を作ることもあるのだそうです。23歳の彼女は、現在彼氏を募集中とのこと。  
個人的に趣味の合う彼女とはとても楽しい時間を過ごせました。



社会福祉法人 足利むつみ会  
セルフ絆/管理者  
改田恭子さん

美知香さん



取材・文 渡邊 希望 脚本家・俳優

1988年神奈川県生まれ。大学時代に現代小説を専攻。2015年「劇団ショートホープ」を立ち上げる。活動は脚本家と俳優に留まらず  
演出家としても活躍し、音響も手掛けるなど、多岐に渡って才能を発揮する。

内なる戦いを続けている人  
睡魔とも戦いを続けている人

今回の取材場所はパン屋さん。早めに到着し  
て店頭にあったパンをまずは頂きました。選ん  
だのは、豆乳パンに鶏天が入った調理パン。味  
付けにガバオが入っていたりと、とても具だく  
さんで、しかも具材のそれぞれが良く調和して  
いて食感も良く、かなり美味しかったです。朝  
食を控えめにした甲斐がありました。

このパン屋さんで、そんなおいしいパンを作っ  
ている美知香さんは、対談の時間になると、工  
房作業用の制服のままではなく、売り場用のそ  
れに着替えて出てきてくれました。

まず仕事内容について伺うと美知香さんは「や  
はり朝は忙しい」と答えました。私が続きを促  
す前に、「とてつもない」「戦いのようだ」と言  
葉を続けました。

また、他のパン屋さんと同様に朝が早いよう  
で、美知香さんはいつも起床時間ギリギリに起  
きて、朝食を食わずに出勤することもあると言  
います。私は「お腹は空かないの？」と尋ねま  
したが、「朝の職場ではそんなことは感じない」  
とのこと、お昼までは問題ないのだそうです。

私は、美知香さんの言葉の使い方が上手いこ  
とが気になって、家ではどんなことをしている  
かを聞いてみました。なんと、小説を書くのが  
好きなのだそうです。

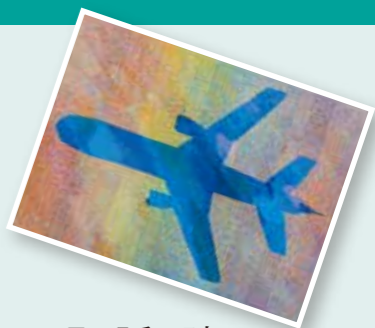


# 障がい者雇用の促進を積極的に進める企業の「アーティスト支援活動」の展覧会をレポート

2018年6月29日から7月12日まで、羽田空港の第2旅客ターミナルの5階「展望デッキ通路」で、「アート村作品展―羽田空港から全国の郷土料理を―」という絵画作品展が開かれた。この「アート村」とは、総合人材サービス大手のパソナグループ内で障がい者雇用の促進を進める特例子会社が行う、障がい者アーティストの育成活動の一環だ。従って、展覧会の絵は、特例子会社の障がい者社員によって描かれたもの。そしてそこには、場所が場所だけあつて空港利用者の多く、か足止め、彼らが描いた全国各地の郷土料理を描いた作品を観覧する姿があつた。

編集部

東京都千代田区  
株式会社パソナハートフル



障がい者アートが誘う飛行機旅行の醍醐味と旅情

総合人材サービス大手のパソナグループの特例子会社「株式会社パソナハートフル」では、「才能に障害はない」をキャッチフレーズに、独自の障がい者雇用の促進しており、その詳細については、本誌でも過去に紹介したことがある。

同社が手掛ける事業は多岐に渡るが、中でもユニークなのが、絵を描く事が好きな障がい者の創作活動を支援し、その独特な感性を事業化して「業務」としていることだ。同社ではこれを、「アーティスト社員制度」として制度化している。アーティスト社員が制作した作品は、東京・大手町のパソナグループ社屋の1階ホールやエレベーターホールの共用部などを飾り立て、そこに赴けばじっくりと眺めることができるが、特定の催し物を除けば一般にはなかなか知られていない。そこで、ここ数年、毎年行われているというこの羽田空港の作品展を覗いてみた。

現地で案内役を務めてもらったのが、同社の社員で、アート村チーム長の千田貢美加さん。千田さんによれば、今回の展覧会は4回目とのこと。1年に2回開催されたことがあったので、年によれば3年目に当たるといふ。

「たき雲の上」というタイトルの龍と飛行機が空中に舞う絵も描いており、めづりたいテーマを細密に描くのがこだわりだといふ。

取材に訪れたのは平日の昼食時で人影も少なめだったが、週末には子連れの利用者などで会場内が一杯になったという。個性ある絵に足を止め、後から障がい者が描いたものと知り、感心する人が後を絶たないとも。

「次があると思えば、オリンピックがテーマになるんじゃないかと思えます」（千田さん）  
テーマが決まるのは約半年前、それに向けてアーティスト社員はそれぞれに題材を決めて用意をする。オリンピックの各スポーツ競技が彼らの手に掛かるとどんな風に表現されるのか。是非ともまた目にしたいものである。

員の35点の作品がそこには飾られていた。

「かつおのたたき」、「鮎の甘露煮」、「羽田空港の朝の風景」を描いた中垣真琴さん（29）のこだわりは色彩だ。アールヌーヴォーを代表する作家・ミュシャの絵が好きで、対象物の光の具合やグラデーションに工夫を凝らしているといふ。確かに、「かつおのたたき」のみずみずしさ、「鮎の甘露煮」の独特の光沢、「朝焼けに光る飛行機の機体」は色彩に敏感でないと描けない作品だろう。

一方、「鯛そうめん」、「鯛メシ」を描いた加藤文博さん（30）の作品は、そうめんの一本一本、米つぶの一粒一粒が細密に描かれたグラフィックアートのよう。どうして鯛なのかを聞くと、「めでたいものが好きだから」といふ。加藤さんは「め

「弊社の障がい者雇用に対する取り組みに共感いただき、『そんな良い活動をやっているのなら是非協力したい』と、毎年こうして場所をお借りしております」（千田さん）

空港側も積極的な模様だ。最初は無かったというスポットライトが、展示スペースに備え付けられるようになったとも。

展覧会では、「羽田空港だからこそ発信したい」というテーマを毎回扱い、過去には「日本の世界遺産」、「百名山」、「祭り」などがあつたという。そして今回は「郷土料理」だ。国内線の発着場として、空港利用者の旅情を誘うテーマの作品を展示している。

同社に20名いるアーティスト社員の中から、自らが「このテーマなら描きたい」と思った社



Kimika Senda

株式会社パソナハートフル  
チーム長/アート村チーム  
千田貢美加さん



Makoto Nakagaki

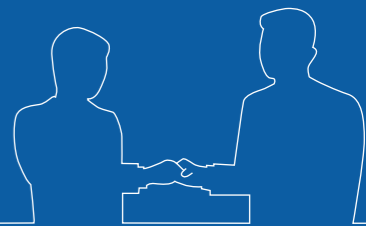
アーティスト社員  
中垣真琴さん



Takehiro Kato

アーティスト社員  
加藤文博さん





弁護士が教える「障がい者と法律」

# シリーズ

## 障がい者の雇用問題 ①



表参道パートナーズ法律事務所  
弁護士／安部 晃平

1986年福岡県出身。2012年上智大学法科大学院修了。2013年弁護士登録。2016年より現職にて、中小・ベンチャー企業の労務管理、訴訟を中心に、各種企業法務を取り扱う。表参道パートナーズ法律事務所所属。

求人・採用の場面に見られる「障がい者差別」を考える

1 障がいのある人の応募は受け付けていないと言われました。



2 障がいのある人のみ応募を受け付けていると言われました。



どのような求人が違法な差別にあたるのかを明らかにしています。

差別禁止指針は、「募集又は採用に関し、次に掲げる措置のように、障害者であることを理由として、その対象から障害者を排除することや、その条件を障害者に対してのみ不利なものとする」ことは、障害者であることを理由とする差別に該当する」としています。

イ 障害者であることを理由として、障害者を募集又は採用の対象から排除すること。

ロ 募集又は採用に当たって、障害者に対してのみ不利な条件を付すこと。

ハ 採用の基準を満たす者の中から障害者でない者を優先して採用すること。

また、解釈通知は、「法（注：障害者雇用促進法）第34条の「障害者に対して、障害者でない者と同様な機会を与え」ることは、障害者に対して障害者でない者等しい機会を与えることをいい、労働者の募集・採用については、その対象から障害者を排除することや、募集又は採用に当たって障害者に対してのみ不利な条件を付すこと、障害者でない者を優先することは障害者に対して障害者

会社の求人に応募しようとした方から、このようなお話を聞くことがあります。

反対に、求人を出す会社から、このような求人を出しても良いのかとのご質問を受けることもあります。

皆様もこのような場面に遭遇し、違和感を覚えたことはないでしょうか。

今回は、前記のような求人・採用に潜む法的問題を探り、障がいのある方に対する差別問題について考えてみたいと思います。

会社が求人を出す際に「障がいのある人の応募は受け付けない」と言えば、それは障がい者に対する差別だと思ってしまうのではないかと思います。

しかし、ひと昔前までは、それは道義的に問題だという感覚はあっても、法的に違法だといえるかどうかは難しい問題でした。

でない者と等しい機会を与えることに該当しないものである」としています。

一方で、差別禁止指針と解釈通知は、積極的差別是正措置として、健常者と比較して障がいのある人を有利に取り扱うことは、障がいのある人であることを理由とする差別に該当しないとしています。

以上の法律の規定を前提として、冒頭①②の場合についてみてみましょう。

1 「障害者の応募は受け付けない」という求人は、障がいのある方を募集又は採用の対象から排除するものですので、障害者雇用促進法34条に違反するものといえます。

2 「障害者の応募のみ受け付ける」という求人は、健常者よりも障がいのある方により広く応募の機会を提供するものです。したがって、障がいのあることを理由として有利に取り扱う積極的差別是正措置といえますので、適法な求人といえます。



それが、平成25年に改正された障害者の雇用の促進等に関する法律（以下「障害者雇用促進法」といいます）により、「障がい者の応募は受け付けない」という求人が違法である法的な根拠が与えられました。

改正後の「障害者雇用促進法」の34条では、「事業主は、労働者の募集及び採用について、障害者に対して、障害者でない者と均等な機会を与えなければならない」と規定されています。もっとも、これだけでは、どうしても「均等な機会」が与えられたといえるのか、はつきりしないところがあります。

そこで、厚生労働省は、「障害者に対する差別の禁止に関する規定に定める事項に関し、事業主が適切に対処するための指針」（以下「差別禁止指針」といいます）や「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律の施行について」（以下「解釈通知」といいます）を公表し、具体的に

このように、障害者雇用促進法の改正により、従来よりも違法な差別が否かが明確になりました。この他にも、具体的に会社のどのような取り扱いが違法な差別に該当するかについて、厚生労働省が公表している「障害者雇用促進法に基づく障害者差別禁止・合理的配慮に関するQ&A」に具体例が豊富に掲載されていますので、参照してみてください（いずれもインターネットで閲覧できます）。

なお、子会社（特例子会社を指しますが詳細は割愛します）で障がいのある方専用の求人を出しているため、親会社の一般の求人では障がいのある方の応募は受け付けていないとする会社が見受けられます。

しかし、このような取り扱いは違法な差別に該当することが、前記のQ&Aに記載されています。今回は、求人・採用の場面に例に、違法な差別の例をみてきました。

障害者雇用促進法は、平成25年に、今回みた差別の禁止以外にも、障がい者を守るための多くの重要な改正がなされています。

次回からは、障害者雇用促進法の平成25年改正の概要、障がい者を守るための他の重要な規定についてみていきたいと思います。

表参道パートナーズ法律事務所  
東京都港区南青山4-17-33 グランカーサ南青山101  
TEL 03-6804-3718



<http://omt-partners.jp/>

各種募集と告知

布施博または大矢真那が取材に向う「訪問先」を募集しています。また、当財団に対するご支援とご協力をお願いを掲載しています。

布施博&大矢真那の訪問先／取材先を募集しています



障がい者を雇用する企業や団体、障がい者施設、学校、場所、スポーツ会場などへ布施博または大矢真那が直接お伺いして取材させていただき、本誌にてご紹介いたします。

■応募条件

障がい者を雇用している(雇用予定を含む)企業や団体、障がい者施設(学校を含む)、障がい者が活躍されているスポーツ団体、スポーツ大会、地域、場所など

■お問い合わせ

下欄にある「一般財団法人メルディア」事務局まで電話またはメールなどにてご連絡ください

※取材に関して費用等は一切かかりません



募集や告知などの情報を無料で掲載しています

一般財団法人メルディアが発行する「月刊メルディア(本誌)」では、障がい者を雇用する企業や団体、各種の養護施設または学校などの募集ごとや告知などを無料で掲載しています。「障がい者を雇用したい」「障がい者施設で開催するイベントを告知したい」などがありましたら、下記の一般財団法人メルディア事務局までお問合せください。掲載に関しましては情報ページ用の「フォーマット」をご用意してあります。フォーマットに則して広告内容を準備していただく必要があります。掲載基準ならびに掲載フォーマットにつきましては事務局までお問い合わせください。

一般財団法人メルディアの活動方針ならびに本誌の編集方針にそぐわない内容、冊子の配置協力をお願いしている各企業の基準に抵触する内容、営利目的のみの内容、特定の宗教や信条に関わると判断される内容、反社会的と判断される内容、公序良俗に反する内容等については掲載をお断りする場合があります。あらかじめご了承ください。

一般財団法人メルディアへのご支援とご協力を募集

障がいのある子供を持つ親の苦勞や将来への不安は、他の人には計り知れないほど大きなものがあります。さらに、それが寡婦・寡夫家庭であった場合、経済的な負担、苦勞、不安なども一人で背負わねばならない状況に置かれることもあります。

私たち「一般財団法人メルディア」は、会報誌「月刊メルディア」を通じて、誌上に厳選した有益な情報を掲載することで、周囲との情報交換もままならず不安を抱える人たちの情報源として、その一助となることを目指しています。

私たち「一般財団法人メルディア」の活動に対するご支援(取材協力・協業の相談・各種支援・支援金・寄付)など、当財団の趣旨に賛同してご協力を頂ける企業・団体・個人を募集しています。下記にある当財団の事務局までご相談ください。

お問い合わせとご相談はこちら 一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 32F  
一般財団法人メルディア 事務局/担当: 鷺坂(さぎさか)・後藤(ごとう) 宛て  
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com



ホームページと Facebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話など、情報が盛りだくさん! Facebookページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。



MELDIA <https://meldia.org/>

facebook <https://www.facebook.com/gf.meldia/>



障がい者が働く企業や団体からの情報や告知

障がい者が働く施設や団体のイベント情報、その他の情報、各種の告知、一般財団法人メルディアからのお知らせなどを掲載しています。

Event

一般財団法人メルディア主催のイベント「MELDIA Cafe」開催



一般財団法人メルディア主催のイベント「MELDIA Cafe」が開催されます。本冊子の連載でもお馴染みのシンガーソングライター・水越けいこさんによる講演とライブ、協力企業や協力団体などによるカフェイベントなども同時開催の予定です。

■日時

2018年9月26日(水) / 15:00 開演(14:00開場) ※予定

■場所

東京都文京区西片1-17-3 / BXホール(文化シャッター本社ビル2F)

■イベント内容

水越けいこによる講演&ライブ / 協力企業&団体によるカフェイベント

■イベント詳細

参加方法や参加条件などについては「一般財団法人メルディア」のサイトへ <https://meldia.org/>

Cafe

豊島区役所4階にあるおしゃれなカフェ「Café ふれあい」



■場所

東京都豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所4階

TEL: 03-3980-5020

■営業時間 ※区役所閉庁日を除く

月~金 9:00~17:00 (L.O./16:30)

土・日・祝 11:00~17:00 (L.O./16:30)

■ホームページ

<http://housinkai.or.jp/guide/tabid/70/Default.aspx>



豊島区役所の4階のラウンジスペースで営業する「Café ふれあい」は、窓から池袋の素敵な街並みを眺めながら美味しい食事をいただける、おしゃれなカフェです。

お店紹介

美味しいパンとクッキーのお店「ピーターパン」



■場所

栃木県足利市元学町830-13

TEL: 0284-41-3291

■営業時間

7:30~18:00

■定休日

日曜、月曜、祝日、年末年始など

■ホームページ

<http://www.mutumikai.ecnet.jp/>



店内に70種類ほど並ぶパンは、ドリンクバーやキッズスペースを備えた「イートインスペース」でもお召し上がりいただけます。



# 湘南ベルマーレ

## ホームゲーム観戦チケットプレゼント



©湘南ベルマーレ

### ■ホームゲーム一覧


開催日	キックオフ	対戦相手	申込み切
9/22 (土)	19:00	セレッソ大阪	9/8 (土)
10/20 (土)	16:00	北海道コンサドーレ札幌	10/6 (土)
11/2 (金)	19:00	清水エスパルス	10/19 (金)
11/24 (土)	14:00	浦和レッズ	11/10 (土)

療育手帳・精神障害者  
保健福祉手帳をお持ち  
の方と、介添者の方1  
名を湘南ベルマーレ  
ホームゲームに抽選で  
ご招待いたします！

### ■応募から観戦までのステップ

**STEP 1 応募**

HPの応募フォームへ  
必要事項をご入力



応募フォーム  
はこちら

<https://meldia.org/privacy/ticket/>

ホームページからも応募できます

財団 メルディア  検索

**STEP 2 メール**

応募完了メールが  
届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方  
は「org@gf-meldia.com」  
を指定メールアドレスに追  
加してください。応募後、  
5日経っても応募完了メ  
ールが届かない場合は恐れ入  
りますが下記お問い合わせ  
先までお電話くださいませ  
ようお願いいたします。

**STEP 3 抽選**


当選者へチケットを  
お送りします

当選者の方へ当選メー  
ルを送信後、応募フォー  
ムにご入力頂いた住所宛  
にチケットをお送りいた  
します。  
当選発表はメールの送付  
をもってかえさせていた  
できます。

**STEP 4 観戦**

スタジアムへGO！


チケットに記載のゲート  
よりご入場ください。  
どうぞ観戦をお楽しみ  
ください！




※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。なお、会場  
内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。あわせてご了承ください。

### ACCESS

Shonan BMW スタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレ HPをご覧ください

 JR 東海道線平塚駅、小田急小  
田原線伊勢原駅よりシャトル  
バス、路線バス運行

 圏央道寒川南 I.C. より湘南銀  
河大橋、国道 129 号線経由で  
約 15 分 (国道 129 号線に随時  
「総合公園」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

### ■お問い合わせ先■

一般財団法人メルディア 事務局 担当: 鷺坂(さぎさか)・後藤(ごとう)

TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日～金曜日 9:30～18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますので  
ご了承くださいませ。

# 10 MELDIA CONTENTS 2018 OCT.

- 01| **いきいきと働こう!**  
Caféふれあい / 社会福祉法人 豊芯会 編
- 06| **一般財団法人メルディアとは?**  
メルディアの基本理念、財団概要、支援事業
- 07| **布施博が訊く**  
株式会社リンクライン 編
- 11| **福祉関連事業所訪問**  
特定非営利活動法人 渋谷なかよしぐるーぷ
- 15| **水越けいこ連載「M size / はじまり」**  
水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る
- 17| **障がい者支援施設訪問**  
社会福祉法人 同愛会 / 障がい者支援施設 光輝舎
- 21| **つむぐ～こえをきく～**  
脚本家・渡邊希望が障がい者の「声」を聞く
- 23| **アーティスト社員による展覧会開催**  
株式会社パソナハートフル
- 25| **弁護士が教える「障がい者と法律」**  
表参道パートナーズ法律事務所 / 弁護士・安部晃平
- 27| **イベント情報と店舗情報・その他**  
障がい者が働く施設や団体の情報・店舗情報など
- 28| **募集と告知**  
取材先募集と協賛の募集など

MELDIA10月号 2018年8月25日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア事務局  
 発行人 / 小池信三  
 事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章  
 編集 / 株式会社サン・オフィス  
 編集人 / 東宮恵美  
 編集長 / 山口慎市  
 進行 / 東宮恵美、山口慎市、谷田貝具介(新村印刷)  
 編集部 / 東宮恵美、都筑亮太、村田保則、渡邊希望  
 ライター / 水越けいこ、布施博、山口慎市、  
 渡邊希望、横関寿寛、大橋はるか、安部晃平

カメラマン / 吉岡晋(PMJ)、渡邊希望  
 ヘアメイク / 鳥取まりこ  
 デザイン / 有限会社フレッシュ・アド  
 印刷製本 / 株式会社オフセット  
 協力 / MELDIA GROUP 株式会社三栄建築設計、  
 社会福祉法人 豊芯会、Caféふれあい、株式会社リンクライン、  
 特定非営利活動法人 渋谷なかよしぐるーぷ、社会福祉法人 同愛会、  
 障害者支援施設 光輝舎、菊池月香、社会福祉法人 足利むつみ会、  
 阿由葉洋平、セルブ絆、改田恭子、ピーターパン、  
 株式会社パソナハートフル、表参道パートナーズ法律事務所、  
 有限会社瀬谷新聞店、株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、  
 PHOTO MIO JAPAN、新村印刷株式会社

※敬称略/順不同

本誌の無断転載・複製を禁じます

2018©All Rights Reserved. 一般財団法人メルディア & 月刊メルディア  
 MELDIA GROUP 三栄建築設計 / サン・オフィス



次号予告

## MELDIA VOL.11

2018年9月25日  
発行予定

一般財団法人メルディア

〒163-0632  
 東京都新宿区西新宿 1-25-1  
 新宿センタービル 32F  
 一般財団法人メルディア 事務局  
 TEL: 03-5381-3213  
 MAIL: org@gf-meldia.com